

## 2022年度 窓口登録の対象科目・対象者一覧

次の「対象科目」、「対象者」は、履修登録期間中に MUSCAT からの履修登録ではなく、履修登録申請書にて手続きを行う必要があります。対象の方は、以下どちらかの方法で手続きを行ってください。

【メールでの手続き※】履修登録申請書を [rishu@musashino-u.ac.jp](mailto:rishu@musashino-u.ac.jp) へ送信

【窓口での手続き※】学務課、もしくは武蔵野学務課窓口にて履修登録申請書を提出

※履修登録期間の事務取扱時間（9：00-17：00）でお手続きください。

### 対象科目

#### <学部生>

No.	区分	対象科目
1	再履修	卒業留年生が、単位修得済の科目を再履修する場合
2		教職課程履修内規に定める科目を評価改善のために再履修する場合
3		社会福祉学科の学生が、実習内規に定める科目を評価改善のために再履修する場合
4		グローバルビジネス学科の学生が、基礎日本語を再履修する場合
5		日本語コミュニケーション学科の学生が、中国語科目を再履修する場合
6		2021年度以降の日本語コミュニケーション学科の学生が「日本語教授法概論A-B」を再履修する場合 ※日本語教員養成課程を希望する学生で当該科目がC評価の場合のみ
7		2020年度以前の日本語コミュニケーション学科の学生が「日本語教授法概論A-D」「日本語学概論A-B」のいずれかを再履修する場合
8		第二外国語として以下の科目の内、いずれか一方のみを再履修する場合 ・2021年度入学生は、外国語基礎1または基礎2 ・2020年度以前入学生は、外国語1Aまたは1B
9		建築デザイン学科の学生が、発展セルフディベロップメント科目を履修する場合（事前にアドバイザーの許可が必要）
10	INITIAL/ BASIS科目	第二外国語として以下の履修を希望する場合 ・外国語1Aを修得済で、外国語1Bの履修を希望する学生 ・外国語1Bを修得済で、外国語1Aの履修を希望する学生
11		留学生以外の、日本語を母語としない学生が日本語・日本事情科目の履修を希望する場合
12		グローバルコミュニケーション学科の2年次生が、副専攻（AI活用エキスパートコース）の科目を履修する場合
13	学科 科目	グローバル学部の中国語履修者以外の学生、もしくはグローバル学部以外の学生で「中国研究(文化文学)初級A-B」「中国研究(文化文学)中級A-B」の履修を希望する場合
14		法学部以外の学生が他学部・他学科履修許可科目として「International Lectures 1(Law)」又は「International Lectures 1(Politics)」の履修を希望する場合
15		グローバルビジネス学科開講「ビジネス中国語A-D」の履修を希望する場合

#### <大学院生>

No.	区分	対象科目
1	履修	大学院生が、学部の科目を履修する場合（履修可否について研究科への確認が必要となるため、まずは学務課・武蔵野学務課に要相談）
2		博士後期課程の学生が所属研究科の修士課程の開講科目を履修する場合（指導教員の許可を得た場合に限る）

### 対象者

No.	対象者
1	経営学部・経営学研究科および人間科学部・人間社会研究科の5年一貫プログラムの修士1年生
2	2014年度以前に入学した学生（薬学部以外の学部生）

※ 上記内容に変更・追加が生じる場合は、随時 MUSCAT にてお知らせします。